

資料 評価規準表（第6学年）

	通知表の文言	具体的な評価規準
国語 6年生	日常生活に必要な言葉のきまり、使い方などを理解する。漢字を正しく書くことができる。	・新出漢字を正しく読んだり書いたりできる。 ・三字以上の熟語の構成を理解している。 ・言葉の意味や使い方が分っている。 ・主語と述語の対応を理解している。 ・意味の似ている熟語を使い分けることができる。
	筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、伝え合う力を高め、思いや考えを広げている。	【読む】 ・随筆を読み、表現に沿って、筆者のものの見方や考え方を読み取っている。 ・説明文の説明の仕方に着目して読み、筆者の考えをとらえている。 【話す・聞く】 ・根拠や理由を明らかにして、効果的に話し合っている。 ・話し手の意図をとらえながら聞き、自分の考えをまとめている。 【書く】 ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどを、随筆に書いている。 ・相手や目的に応じて内容や構成を考え、パンフレットにまとめている。 ・写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作っている。
	言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。	・随筆の特徴について理解し、今までの学習を生かして、筆者のものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しんだり、書いたりしようとしている。 ・雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討し、今までの学習を生かして、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめようとしている。 ・友達と伝え合うことを通してよりよい物語の展開を考え、すすんで物語を書こうとしている。

	通知表の文言	具体的な評価規準
社会 6年生	日本の政治と歴史及び国際理解について理解するとともに、情報を適切に調べ、まとめることができる。	・日本国憲法の基本的な考え方について各種の資料で調べて必要な情報を集め、読み取り、日本の民主政治について理解している。 ・政治は、憲法の基本的な考え方に基づいており、立法、司法、行政がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。 ・政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどについて統計などの資料で調べて必要な情報を集め、読み取り、地方公共団体の政治の働きについて理解している。 ・地方公共団体の政治が、国民主権の考えのもと、住民の生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。 ・国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について理解するとともに、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べ、まとめることができる。
	日本の政治と歴史及び国際理解に関する特色や相互の関連、意味を考え、適切に表現している。	・日本国憲法の基本的な考え方に着目して、問いを見出し、日本国憲法と政治や国民生活とのつながりについて考え、話し合ったりノートにまとめたりしている。 ・日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会・内閣・裁判所と国民生活との関わりを考え、話し合ったりノートにまとめたりしている。 ・政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、問いを見だし、地方公共団体の政治の働きについて考え、話し合ったりノートにまとめたりしている。 ・日本の歴史の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に見て、各時代の課題や、変化の理由、歴史を学ぶ意味などを考え、話し合ったりノートにまとめたりしている。
	日本の政治と歴史及び国際理解について、すすんで問題を解決し、よりよい社会を考え生活に生かそうとしている。	・日本国憲法の考え方に基づく国のあり方や政治の仕組みについて、問題を追究し、解決しようとしている。 ・地方公共団体の政治の働きについて、問題を追究し、解決しようとしている。 ・日本の歴史について、問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習したことを基に、長い歴史を経て築かれてきた日本の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

	通知表の文言	具体的な評価規準
算数 6年生	計算をしたり、文字の式を用いたり、図形を構成したり、面積や体積を求めたり、表やグラフを用いたりできる。	・起こり得る場合について、図や表を使って、落ちや重なりがないように順序よく調べることができる。 ・文字を用いた式に表したり、文字を用いた式を読んだりすることができる。 ・aやxなどの文字を用いることができる。 ・分数の四則演算をすることができる。 ・小数、分数、整数の混じった四則演算をすることができる。 ・線対称、点対称な図形の特徴を理解し、対称性から作図することができる。 ・線対称、点対称な図形や、縮図や拡大図における対応を用いて、辺の長さや角の大きさなどを知ることができる。 ・算数の用語を用いることができる。
	数や計算、図形について考えたり、データや表、グラフ、式などを利用したり、考え方を説明したりしている。	・適切な立式の理由を説明する。 ・数の大きさや計算の仕方を、既習事項を用いて考えて、その考えを説明している。 ・分数の乗法や除法の計算のきまりを言葉や図、式を用いて表現し、説明している。 ・既習の図形を対称性から見直し、説明している。
	算数の考え方や知識のよさに気づいたり、算数で学んだことを生活や学習に生かしたりしようとしている。	・生活の中で、学習した算数の内容を用いて表現している。 ・自分で問題を提案したり、作問して解決を試みたりしている。 ・他者が考えた式やグラフなどの表現に対して質問をしている。 ・学習した算数の内容がどのようなことに役立つのかを考えて表現している。 ・学習したことを粘り強く身に付けようとしている。

	通知表の文言	具体的な評価規準
理科 6年生	自然事象の相互の関わりや変化のきまりを理解し、適切な観察・実験を行うことができる。	・ものが燃え続けるためには、空気が入れ替わる必要があることを理解している。 ・ものが燃えると、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。 ・消化や呼吸の仕組みについて理解し、適切な実験道具を用いて調べることができる。 ・植物の水の通り道について理解している。 ・顕微鏡を使用して、気孔を正しく観察することができる。
	見いだした問題を、推論しながら、相互関係や規則性に着目して解決し、その過程や結果を分かりやすく表現している。	・ものの燃え方の違いから、気体の種類や性質が考えられる。 ・人とほかの動物の呼吸の仕組みについて、共通点と相違点を考えている。 ・植物が取り入れた水のゆくえについて、実験の様子をもとに推論して考えている。
	自然事象に興味・関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	・燃焼の仕組みについて、事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・人やほかの動物の体のつくりや働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決をしようとしている。 ・植物の体のつくりと体内の水などの行方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決をしようとしている。

	通知表の文言	具体的な評価規準
音楽 6年生	曲想と音楽の構造などとの関わりに気づき、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付け音楽表現できる。	・パートの重なり方の特徴に気づき、互いの歌声を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 ・リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気づき、音色や響きに気を付けて演奏する技能を身に付けている。 ・フレーズのつなげ方や重ね方の特徴に気づき、音型をもとにした音楽をつくる技能を身に付けている。 ・曲想及びその変化と、速度や強弱、調などの音楽の構造などとの関わりについて理解している。
	音楽表現に対する思いや意図をもったり、曲や演奏のよさを見つけながら音楽を味わって聴いたりしている。	・旋律やパートの重なり方の特徴を生かした歌い方について考え、どのように互いの歌声を聴いて、声を合わせて歌うか工夫して歌っている。 ・どのように曲の特徴に合った表現になるか考え、演奏の仕方を工夫してリコーダーを演奏している。 ・どのように音型をもとにした音楽をつくったらよいか考えて音楽をつくっている。 ・曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。
	友だちと音楽活動をする楽しさを感じながら、表現したり音楽を聴いたりし、様々な音や音楽に親しもうとする。	・旋律やパートの重なり方の特長を生かして歌う活動に興味をもち、より曲の特徴に合った表現で歌おうとしている。 ・リコーダーを演奏する学習に興味をもち、演奏の仕方を工夫してよりよい音色で演奏しようとしている。 ・音型をもとにして音楽をつくる学習に興味をもち、友達と相談しながらよりよい音楽をつくろうとしている。 ・曲のよさや指揮者による演奏のよさの違いを感じ取る学習に興味をもち、より深く聴き取ろうとしている。

	通知表の文言	具体的な評価規準
図画工作 6年生	形や色などの感じを理解し、自分らしく表現し、表し方を工夫することができる。	・黒と白の表現から、動きや奥行き、バランスを理解している。 ・オリジナル筆をつくる材料の特徴を理解し、選び、表したいことにふさわしい筆をつくり、作品に生かすことができる。 ・墨や筆、紙の特徴を生かして、表し方を工夫している。 ・文字の形や配置のバランスを考え、表したいことに合わせて描画材を選んでいる。 ・作品のよさや、表し方の違いを見つけることから、動きやバランスを理解している。 ・木材の構成や仕組みから、バランスや奥行きを理解している。 ・これまでの経験を生かし、材料の使い方や作り方を工夫している。 ・前学年までの材料や道具の経験を生かし、表したいことに合わせて材料を選択し、使い方を工夫している。
	つくりたいことや、表現方を考え、見方や感じ方を深めて、造形的なよさを感じて活動している。	・文字の形や自分のイメージから想像したことを基に、形や色を考えている。 ・自分の経験から想像を膨らませてテーマを決定し、どのように表すか考えている。 ・墨の濃淡、筆使いなどをいろいろ試すことから、表したいことを考えている。 ・形や色、バランス、動きなど画面の空間や構成を考えている。 ・作品の特徴からそれが置かれている場所や作品の意味を考えている。 ・用途や各自の主題をもとにつくりたいものを発想し、どのように作るか考えている。 ・自分や友人の作品の材料の使い方の工夫や色や形の組み合わせのよさに気付いている。
	表現したり鑑賞したりする喜びを味わい、自ら周囲に関わり、進んで活動に取り組んでいる。	・「自分」をテーマに、文字の形や配置のバランスによる感じ方の違いを楽しみ、様々な材料や道具と積極的に関わっている。 ・墨による表現の楽しさや美しさを味わい、主体的に新たな表現に取り組もうとしている。 ・作品から気づいたことや感じたことから作品のよさを主体的に味わおうとしている。 ・あったらおもしろいと感じたり、生活に役立つものを作ることの喜びを味わい、楽しんで想像し、さまざまな表し方や材料に積極的に挑戦している。

	通知表の文言	具体的な評価規準
家庭 6 年生	家庭生活、衣食住、消費や環境などについて理解し、それらに関わる技能を身に付けている。	・生活時間の有効な使い方について理解している。 ・調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、後片付けについて理解しているとともに、適切にできる。 ・用具の安全な取り扱いについて理解しているとともに、適切に使用できる。 ・住まいの清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 ・季節に応じた日常着の快適な着方について理解し、洗濯の仕方を理解しているとともに、適切にできる。
	家庭生活をよりよくするために、考えたり工夫したりしている。	・生活時間の有効な使い方について考え、工夫している。 ・おいしく食べるためにいためる調理の調理計画や調理の仕方について考え、工夫している。 ・暮らしを楽しく豊かにするために、住まいの整理整頓について考え、課題を解決する力を身に付けている。 ・季節の変化に合わせた住まい方や衣服の着方について問題を考え、改善の方法を見つけている。
	家庭生活の課題の解決に主体的に取り組み、学習したことを役立てようとしている。	・家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 ・調理などの技能が身に付けられるように、粘り強く取り組もうとしている。

	通知表の文言	具体的な評価規準
体育 6年生	運動の行い方について理解し、運動の特性に応じた技能を身に付けている。	・体づくり運動では、体を動かす心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすることができる。 ・表現では、音楽に合わせて表したい感じを表現したり、友達と協力して表現したりすることができる。 ・喫煙・飲酒・薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となることについて理解している。
	自分の運動や健康に関する課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えている。	・運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けるために、自己の運動の課題を見付けている。 ・自己の能力に適した課題解決や体の動きを高めるために、運動をする場や練習の仕方を選んだり、工夫したりしている。 ・自己や友達の動きの変化や伸びを見付けたり、考えたりしたことを伝えたりしている。 ・生活行動が主な原因となって起こる病気の予防について、学習したことを自分の生活と比べたり、関連付けたりするなどして適切な解決方法を考えている。
	健康・安全に気を付けて、運動にすすんで取り組もうとしている。	・運動に積極的に取り組もうとしている。 ・約束を守り助け合って運動をしようとしている。 ・仲間の考えや取組を認めようとしている。 ・勝敗を受け入れようとしている。 ・場や用具の安全に気を配っている。 ・病気の予防について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習や、教科書や資料を調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習にすすんで取り組もうとしている。

	通知表の文言	具体的な評価規準
外国語 6年生	日本語と外国語との違いを理解し、コミュニケーションの基礎的な技能を身に付けている。	・ 出身地、得意なこと、好きなもの、誕生日を示す表現が分かる。 ・ 出身地、得意なこと、好きなもの、誕生日を示す言葉が読める。 ・ 出身地、得意なこと、好きなもの、誕生日を示す文章の構成が分かる。 ・ 単語を聞いて、最初の文字がどのアルファベットか分かる。 ・ ものや場所を紹介する表現が分かる。 ・ ものや場所を紹介する言葉が読める。 ・ ものや場所を紹介する文章の構成が分かる。
	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを外国語で伝え合っている。	【聞く】 ・ 得意なこと、好きなもの、誕生日についての話を聞いて、必要な情報を聞き取れる。 ・ ものや場所を紹介する言葉を聞いて、必要な情報が読み取れる。 【話す】 ・ 得意なこと、好きなもの、誕生日について、自分のことを話している。 ・ ものや場所を紹介する言葉を話している。 【書く】 ・ 自己紹介をする文章が書ける。 ・ ものや場所を紹介する文が書ける。
	相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・ 習ったことを積極的に用いて、相手や他者に配慮しながら、自分の言いたいことを伝えたり書いたり、相手の話を理解しようと努めている。